



## ゲームの状況把握していますか?~バーチャルと現実の境は?~

今子どもたちの間で、あるゲームの人気の高まっているようですが、目を離してしまうと一日何時間も遊んでしまったり、中毒状態になってしまったりと、心配される親御さんからの声が全国的に広がっているようです。まず、これらのゲームに含まれる心配な点を知ることが、安全な使い方につながるのではないかと考えます。

最近のゲームはマルチプレイヤーゲームといわれ、チャット機能を使い、見ず知らずの人と遊ぶことができます。

そのため不適切な表現を聞かされ不快な思いをしたり、子どもを装った大人から接触されたり、オンラインでのいじめや仲間はずれが起こったりなど、子どもの安全に関わる心配な点があります。

また、これらのゲームは無料でダウンロードできるものがほとんどですが、アプリ内購入で武器やコスチュームなどを購入するとお金がかかります。一連のアプリ内購入可能アイテムを手に入れるため、クレジットカードを使って多額の無断購入をしてしまう子どももいるようです。

勝つことが難しいゲームでは、プレーを重ね、負ける体験を重ねることで、怒りの感情が生まれたり、不安やストレスを感じたりするケースがあるようです。バーチャルとリアルの違いがわからなくなり、暴力的な行動をとるなど、学校でのいじめに発展するケースがあります。

まず一番大切なことは、子どものゲーム使用時間に気を付けることです。ゲームをする前に行うべきことをする(宿題など)、ゲーム使用時間を決める

など、家庭内のルールがとても大切です。また、ゲーム機には使用時間を制限する機能がありますし、パソコンやタブレット、スマートフォンなどの場合は、アプリやウェブ閲覧の制限時間を設定する監視用ソフトウェアがあります。それらを利用し、子どもを守る方策も考えられます。

次にチャット機能については、無防備で使用することでどのような危険があるのか、子どもにしっかりと伝える必要があります。マルチプレイヤーゲームとしての機能は使わない方がよいでしょう。自分の友達とチャット機能で遊ぶ場合は、ご家庭同士で使用時間や、ケンカしたり、仲間外しをしたりしないなどのルールを決めることが絶対的に必要だと思います。

アプリ内購入については、子どもの夢中程度により、購入の誘惑を断ち切るためアプリ内購入の権限を奪ったり、毎月・毎週の購入限度額を設定したりすることが大切だと思います。

最後に子どもの様子についてです。ゲーム使用と感情のアップダウンの関連が顕著であれば、ゲームの時間やゲームの自分への影響などについて子どもとよく話し合い、自分を守るために必要な選択肢を一緒に考えてあげることが大切です。

これからは、情報化社会から超スマート社会へと移り変わっていきます。「使わせない」方策から「安全に使えるようにする」方策への転換が必要です。学校では各教科等で「情報社会を生き

きていく上で必要な態度や考え方」を育む情報モラル教育を行っていきますので、ご家庭でもゲームを子どもに預けっぱなしにするのではなく、ルールや責任について一緒に考える機会を是非つけていただきたいと思います。



## 6年生の修学旅行について

前号で2学期以降の学校行事の見通しについてお知らせしましたが、今回6年生の修学旅行についての計画が立ちましたのでお知らせいたします。

当初9月2日・3日に札幌・小樽方面を行き先とし計画を進めておりましたが、感染の状況が回復してきていると言いましても、その方面への旅

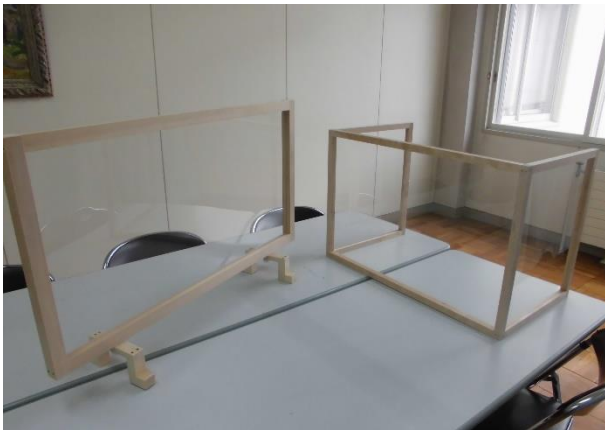
行は、まだリスクが高いと判断し、10月中旬以降（10/21, 22を予定）に、登別の方面へ出掛ける計画を立てております。日に日に情勢が変わる中ですので、変更点が出てくる可能性もありますが、感染リスクの低減に努め、子どもたち



の安全確保を第一義とする旅行の実現を目指します。どうぞご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

本日（7/14）の19時から6年生の保護者の皆さんを対象に「オンライン修学旅行説明会」を実施し、参加できない方のために翌日16時から体育館でオフラインの説明会も、感染防止を徹底しながら行う予定です。

## 学校へのご支援に感謝



本校PTA監査を務められています遠藤丈様（有限会社 遠藤木工 常務取締役）から、コロナウィルス感染防止に関わり、「飛沫感染防止パーティション」を寄贈していただきました。学習活動を進める上で必要な教具をいただき、ありがとうございます。子どもたちの安全確保のために大切に使用させていただきます。



また、帯広市交通安全推進委員連絡協議会柏支部の皆様から、百周年記念のお祝いをいただきました。「子どもたちに図書を贈りたい」というお言葉をいただきましたので、子どもたちの学習に生きる本を購入させていただき、これからの時代に必要な読解力の育成に生かさせていただきます。

学校へ温かいご支援をいただきまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## ◇青少年の非行・被害防止 道民総ぐるみ運動強調月間◇

前号でも掲載しましたが、子どもたちを守るために大切な内容ですので、もう一度お知らせします。

少子高齢化・情報化等の進行は、青少年を取り巻く環境にも大きな影響を及ぼしており、昨年度は道内で1,500人も少年が刑法犯で検挙・補導されています。そこで、次代を担う青少年を非行や様々な被害から守り、健全に育成することを目的として、国の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に合わせ、7月を「青少年の非行・被害防止道民総ぐるみ運動強調月間」とし、その最重点課題

に「SNS利用に関わる子どもの性被害等の防止」などに取り組むこととなりました。本校におきましても「非行・被害の防止」に関わる知識・態度の育成はシチズンシップの観点からも重要と捉え、発達段階に応じた指導に努めます。ご家庭におかれましても、子どもたちのデバイスの通信状況やフィルタリング、使い方のルールを再確認するなど、ご協力をお願いいたします。

